



フシギなさかな

ヒメタツのひみつ

おざき
尾崎たまき作

しんにほんしゅつぱんしゃ
新日本出版社

タツノオトシゴの仲間ななかまで、「ヒメタツ」という名なのフシギなさかながいます。長く突つき出でた口くち、王冠おうかんのような頭あたまの突起とつき、そしてくるんと巻まいた尾お。タツノオトシゴよりも小さく、頭あたまの突起とつきが短いみじかのが特徴とくちゆうです。かくれんぼの名人めいじんで、まわりの環境かんきやうにあわせ、体からだの色いろが変かえられます。最大さいだいのひみつは、オスのふっくらしたおなか。どうしてオスのおなかが大おおきいのでしよう。熊本くまもと県けんの水俣みなまたの海うみで発見はっけんされ、新しん種しゆだとわかったヒメタツ。その生せい態たいを鮮あひやかな写真しやしんで紹しやう介かいします。

